

# 教育と文化

## 古伊万里ライオンズクラブからのプレゼント 『いまりっ子文庫』に児童図書を贈呈

2月23日、古伊万里ライオンズクラブが、市民図書館に絵本46冊を寄贈しました。クラブは、平成25年2月、館内のイスノキコーナーに『いまりっ子文庫』を開設して以来、毎年絵本を寄贈しています。

贈られた本のうち、赤ちゃん向けの絵本については、市民図書館のボランティアグループ『てんとう虫の家』が製作した布製のバッグに10冊を入れ、『赤ちゃん絵本バッグ』として貸し出される予定です。



↑絵本を寄贈した古伊万里ライオンズクラブの皆さん



↑赤ちゃん絵本バッグ用の布製バッグ

## どうしてツルは飛来するのでしょうか 愛鳥モデル校でツルの学習会



↑地図を見ながらツルが飛来する理由を考える児童

1月23日、市内で唯一の愛鳥モデル校である東山代小学校で、伊万里に飛来するナベツルとマナヅルをテーマにした学習会がありました。日本野鳥の会の会員を講師に迎え、同小学校の4年生が、伊万里の自然とそこに暮らすツルの生態について理解を深めました。児童からは「ツルがやってくる伊万里を自慢したい」との声が聞かれました。

## 郷土の文化財

伊万里の城館跡シリーズ⑧

●問合先 生涯学習課文化財係 ☎3186

### 日在城跡

日在城は別名『大川野城』とも呼ばれ、駒鳴峠から南に連なる丘陵上に立地する大川町川西字古城に所在する山城跡です。

丘陵の斜面部はところどころに岩盤が露出して急な崖になっているため、険しい天然の要害となっており、城郭関連遺構はその山頂部に展開しています。丘陵の最高所に主郭と思われる平坦面を設け、その西側には南北に複数の曲輪が展開しています。遺構は総じて人為的な造成の痕跡は確認できず、自然地形を利用したものとなっています。また、曲輪同士をつなぐ経路がはつきりせず、それぞれの曲輪が独立しているような特徴的な配置となっています。

後世の文献によれば、大河野氏が築城して途絶える



↑日在城跡（空中撮影写真）

まで在城し、その後は鶴田氏が居城したとされています。最終的には鶴田氏が武雄の後藤氏の被官となつて、大川野を離れたことで日在城も廃城になったとみられます。

城跡へは、丘陵の東西の谷部にそれぞれ小道があり、そこから徒歩で向かうことができます。低山登山程度の靴と服装が適当です。